

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公開番号】特開2013-125852(P2013-125852A)

【公開日】平成25年6月24日(2013.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-033

【出願番号】特願2011-273603(P2011-273603)

【国際特許分類】

H 01 L 31/05 (2014.01)

【F I】

H 01 L 31/04 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2011-151262号公報

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

統括制御部39は、撮像部37で撮像された電極パターン16の存在部位に係るセル側標識15mの画像情報に基づくセル15の現在位置を、撮像部37で撮像された配線パターン14の存在部位に係る配線シート側標識13mの画像情報に基づくセル15の目標組付位置に合わせるように、回転体27が設けられた反転駆動部31の位置または姿勢の少なくともいずれかを、位置・姿勢調整部33を用いて調整させる制御を行う機能、および、配線シート13に係る配線パターン14とセル15に係る電極パターン16との相対位置関係を整合させた状態で、配線シート13に対してセル15を、位置・姿勢調整部33を用いて組み付けさせる制御を行う機能を有する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

ボビン保持体72は、配線シートロール13rを回動自在に支持するボビン71を保持する機能を有する。ボビン保持体72は、通常時において、第1のボビン移送体73、または、第2のボビン移送体77のいずれかに積載された状態で移送される。図3G～図3Iに示すボビン保持体72は、第1のボビン移送体73に係る複線レール73a(図3F参照)、または、第2のボビン移送体77に係る複線レール77a(図3F参照)に沿って走行する際に用いる車輪部72aと、車輪部72aが四隅に取り付けられた底板72bと、底板72bから逆L字形状に立ち上がる側板72cと、側板72cの後方側(配線シート13が引き出される側を基準とする。以下、同じ。)に回動自在に支持される案内口

ール 7 2 d と、案内ロール 7 2 d の前方側に設けられた第 1 および第 2 の案内板部 7 2 e , 7 2 f とを備えて構成されている。

なお、第 1 および第 2 の案内板部 7 2 e , 7 2 f には、図 3 G に示すように、空気の負圧によって配線シート 1 3 を吸着固定するための複数の空気孔 7 2 g が、配線シート 1 3 の幅方向に対応する位置に開設されている。また、第 2 の案内板部 7 2 f の前方側には、シート切断部 2 5 が設けられている。